

審議会等会議録

審議会等の名称	平成 29 年度第 5 回山口市立図書館協議会
開催日時	平成 30 年 3 月 22 日（月曜日）9：00～10：30
開催場所	山口市役所別館 第 2 会議室
公開・部分公開の区分	公開箇所
出席者	安光会長、吉村副会長、糸長委員、牛見委員、大野委員、國弘委員、中原委員、中村委員、原田委員、山口委員
欠席者	大林委員、田坂委員
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館管理担当主幹、サービス担当主幹
議題	1 協議事項 (1) 第三次山口市立図書館サービス計画について (2) 第三次山口市子ども読書活動推進計画について (3) 平成 30 年度予算の概要について (4) その他
内容	<p>○会長</p> <p>おはようございます。朝早くから大変申しわけございません。開催の時間が大変恐縮ですが、10時半から他に予定が入っているもので、9時からとさせていただきます。</p> <p>遠くから来られた方、大変申しわけございません。ラッシュ時ではないかと思ってお心配しております。まずは、おわび申し上げます。</p> <p>それでは、ご協議いただきました第 4 回図書館協議会の後に、手続、諸手続をなさいまして、パブリックコメントを行われたということでございます。</p> <p>第 4 回図書館協議会以降、修正がありましたらその内容と、またパブリックコメントについて説明を受けたいと思います。</p> <p>では、最初に第三次山口市立図書館サービス計画でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>○事務局</p> <p>それでは、第三次山口市立図書館サービス計画につきまして、ご説明いたします。</p> <p>今、会長からございました第 4 回からの変更点ですが、大きな変更はございません。例えばご指摘があった「取り組み」という言葉の統一とか、「進めます」を漢字に統一するとか、そういう細かな修正はしておりますが、大きな変更はございません。</p> <p>パブリックコメントですが、2月19日から3月20日まで行いましたが、特にご意見はございませんでしたので、それに伴う修正もございません。今お持ちいただいている資料が、ほぼそのまま計画になる予定です。よろしく願いいたします。</p> <p>○会長</p>

ありがとうございます。パブリックコメントはゼロ件だったということですので、これをどう捉えるかということはあると思いますが、これで一応最後になります。もう大きくは変更というわけにはいかないかと思いますが、誤字、脱字とか、もしそういうことがございましたら、お願いしたいと思います。やはり表記の統一という基本的なこととも必要だと思います。何かございますか。

○副会長

事前に送っていただいた資料で、前回問題になった民間の書店等の協力についてはどのように変更されていますか。

○事務局

まちじゅう読書のことですか。

○副会長

そうです。53ページのまちじゅう読書のところです。

○事務局

民間との取り組みにつきましては、後ほど予算のほうで具体的に触れさせていただきたいと思っております。

書店、カフェ等と連携した事業を進めていきたいと思っております。

○副会長

問題になっていたのは、54ページのまちじゅう図書館というところで、基本的に反対しているわけではなく、ビブリオバトルや民間事業者への団体貸し出しなど、連携を取りながら事業を実施するという要旨だと思っておりますが、このことによって某民間の書店が入り、流行の本ばかり並び、あるいは書店主導になるなど、危惧感が出されていたと思いますが、そのあたりのことは十分認識された上で、この計画となっているということですね。この文面にはあまりそのあたりのことが書かれていないし、書いたところでどうなのかという部分もあると思うのですが。

○事務局

ご指摘ありがとうございます。今出版ベースが減少傾向で、書店さんにしても存亡の危機にあると思っております。

図書館といたしましても、人口が減っている中で、お互いに協力し、プラスになることでないと協力や連携はできないと思っております。

これは例示でございますが、どういう形が山口でできるのかという視点で、こういう文言を入れておきまして、この方向性は山口市だけではなく、全国的にも事例として書店さんと図書館が、あるいはカフェと図書館がいろんな形で連携を模索しておられ、そのまち独自のやり方を進めておられます。おそらく、某大型書店さんとかを想像されてのご意見だと思うのですが、そういうところに迎合するのではなく、地元にあるものとかとどういう連携ができて、お互いにどうしたら人の流れを作り出せるかということを考えていきたいということで、ここに示させていただいております。

○副会長

わかりました。民間連携とは、図書館が主体性を持ちながらお互いに協力体制を組

むということですね。

○事務局

お互いに邪魔になるようなことはおそらく受けとくたさらないと思いますが、図書館と連携することによって、売り上げに繋がるとか、人が来てくれるなど、図書館との連携によってプラスの評価が得られる。そういうことを考えていただけるような何かを進めたいと思っております。

○副会長

わかりました。

○会長

よろしいですか。他に何か。どうぞ、お願いします。

○委員

今の図書館長さんのお答えで、納得したのですが、その考えがはっきり現れるように、例えば「地域のカフェ、書店等」とか、「地域に根差した」とか、「地元の」という言葉がどこかに入ると、館長さんがおっしゃったことがよりはっきりすると思いました。

○会長

ありがとうございます。これにつきましてはご検討いただいて、回答は他の機関との調整もあると思いますので、そのあたりはお任せしてよろしいでしょうか。

それでは、ほかに何かお聞き——どうぞ、お願いします。

○委員

表記の問題かもしれませんが、まちじゅう図書館のところに(1)と書いてあると、(2)があると思いつのページを見るのですが、これはやはり(1)と書かないといけないのですか。

○会長

これにつきましても、これが必要なのかというところもあわせてご検討ください。他のところがどうなっているのか、全部見ていないのですが。

○事務局

全体的に確認をいたしまして、公表するときにはバランスを整えさせていただきます。

○会長

ご指摘ありがとうございます。他に何か、お気づきとかあればよろしくお願ひいたします。

それでは、第三次山口市立図書館サービス計画については一旦置きまして、次の第三次山口市子ども読書活動推進計画に入ります。

最後に再度お聞きしますので、何かございましたら、よろしくお願ひいたします。

○事務局

子供読書活動の計画につきましても、サービス計画と同様に、前回の図書館協議会でご協議いただいて、その後パブリックコメントをサービス計画と同時期に実施いた

しております。主な変更点につきましては、先ほど申しました文言の修正であるとか、軽微な修正はしておりますが、内容は皆様にお示ししたそのままでございます。

パブリックコメントの結果ですが、こちらのほうも意見がございませんでしたので、この内容でいくということで考えております。よろしくお願ひします。

○会長

ありがとうございます。これも、パブリックコメントはゼロ件ということだそうです。皆様よろしければ最後のチャンスですので、何かお気づきの点がありましたらよろしくお願ひいたします。それでは、まだ最後に時間を設けたいと思いますので、一旦これにつきましては置かせていただきまして、3番目の平成30年度予算の概要について、事務局より説明をお願ひいたします。

○事務局

では、お配りをいたしておりますA4縦の平成30年度山口市立図書館関係予算(案)の概要をお開きください。

平成30年度山口市立図書館関係の予算の基本的な方針といたしまして、「日本一本を読むまちづくり」の実現に向け、「いつでもどこでも本のあるまち、どんなときも身近に役立ち、出会いを大切にする図書館」を目指して、第三次山口市立図書館サービス計画、第三次山口市子ども読書活動推進計画に基づく各種施策を平成30年度より5カ年計画で展開していくこととしております。

さらに、民間事業者と連携し「本がまちに出かけていく」仕組みを作り、市民の利用を促すとともに、新たな人の流れによる地域経済の活性化の創造を目指します。

概要といたしましては、市全体が厳しい財政状況にある中、管理的な経費である、人件費や保守業務経費の継続的確保を図ります。平成30年度は市立図書館6館のうち4館が開館5年から15年を経過する節目の年を迎えます。ハード事業費は、中央図書館の周年事業として計上しておりますが、ソフト事業費は各館でブラッシュアップを図り、予算の範囲以内となりますが、周年事業を全館で連携しながら実施いたします。

下記の図表でございますが、事務事業が7つあります。この内、図書館管理運営業務、移動図書館管理運営業務、図書館活用推進業務の3つの重点項目をご説明いたします。

図書館管理運営業務につきましては、中央図書館のエントランスエリア、そして奥でございますグループ研究室、情報検索室、ボランティア室の改修を行う予定としております。さらに、民間事業者と連携した事業を実施する予定でございます。

平成29年度から秋穂図書館の図書館システムがメンテナンスの保守から外れておりますので、秋穂図書館の端末機器を更新いたしまして、メンテナンス保守の対象とするものでございます。

さらに、ブックポストの本の回収や、大学図書館の相互返却資料の移動などに使っております8トン車を更新いたします。

移動図書館管理運営業務につきましては、現在、移動図書館車1号、2号の2台体

制で運行しておりますが、そのうち、ぶっくん1号車を更新する予定としております。

図書館活用推進事業におきましては、明治維新150年に向けて、歴史講座やイベントの実施を行ってまいります。

今、ご案内いたしました図書館管理運営業務の中の中央図書館のリニューアル事業について、補足説明いたします。中央図書館では、平成30年度の開館15周年を契機として、これまでの図書資料の利用を目的とした図書館サービスに加え、本を通じて活動の輪がさらに広がる取り組みを新たな視点で進めていくこととしております。人と人との出会いが交流を創出する空間の整備として、このたびのリニューアル事業に取り組むことといたしております。

リニューアルの内容といたしましては、図書館に入っすぐのエントランスエリアに、ゆったりとくつろぎながら読書や調べものができる、飲料持ち込み可能な空間と、子供たちの工作教室やライブラリーコンサート、ギャラリー展示、教養・趣味の講座などを開催できる空間を整備いたしまして、誰もが気軽に立ち寄れることができるサードプレイスとしての図書館となるよう取り組むことといたしております。

また、図書館の奥に位置しておりますグループ研究室、情報検索室、ボランティア室の3室を一つの空間として整備し、少人数から多人数グループまで、テーマに応じた講座やセミナーの開催が可能となるように整備を行いまして、例えば健康講座や子育て支援講座、起業創出支援講座等により、本から得られる知識をより深めた実践的な活動へと変化を生み出すさまざまなテーマの講座や、ワークショップを開催いたしまして、多くの方の利用につなげてまいりたいと考えております。

こうした中央図書館の新たな機能を付加した施設の整備に加えまして、民間事業者などと連携し、まちのどこでも本を手にすることができる「まちじゅう図書館」のソフト事業の展開を図ることにより、日本一本を読むまちづくりの新たな一歩を踏み出したいと考えております。

A3の大きな資料が実際の予算関係の資料です。

7つの事業がございまして、一つずつご説明いたします。

最初に、図書館管理運営業務でございます。図書館の管理運営に関する経費といたしまして、平成30年度予算として1億9,838万5,000円を計上いたしております。

平成29年度との増減額は、3,201万2,000円となっております。

秋穂図書館の図書館システムの更新、配本車の更新、中央図書館の開館15周年リニューアル事業が、来年度の主な増額の内容となっております。

2点目の、移動図書館管理運営業務につきましては、移動図書館の管理運営に関する経費といたしまして、平成30年度予算が1,759万5,000円となっております。前年度から1,620万円の増となっております。この理由といたしましては、先ほども申しました移動図書館ぶっくん1号の更新でございます。

3点目の図書館資料整備事業でございます。事業の目的といたしましては、図書館資料の購入に対する経費でございます。30年度予算といたしまして、4,737万

1,000円でございます。この経費につきましては、前年度と比較いたしまして、606万1,000円のマイナスとなっております。これは、平成29年度まで蔵書充実プロジェクト経費という形でお金がついておりましたが、蔵書が70万冊を平成29年度末で達成いたしますので、このプロジェクト経費が平成30年度予算から除外されマイナスとなりました。

4点目のブックスタート推進事業でございます。絵本の活用による子育てを通じた子供の読書活動の推進や、保護者間の交流のきっかけづくりに係る経費でございます。平成30年度予算は、189万1,000円でございます。これは、平成29年度と同額となっております。

5つ目の、子ども読書活動推進事業でございます。子どもの読書活動を推進するための行事、イベントを行う経費53万3,000円でございます。これも、平成29年度と同額となっております。

6つ目の学校図書館支援サービス事業でございます。学校図書館を支援し、読書のきっかけづくりや意欲向上を推進する経費506万6,000円を計上いたしております。これも平成29年度と同額となっております。

7つ目の図書館活用推進事業につきましては、図書館利用者層の拡大を図るための各種イベント等を実施する経費でございます。平成30年度予算に173万8,000円を計上いたしております。平成29年度と比べまして、9万円の減となっております。この内容といたしましては、今年度の第三次山口市立図書館サービス計画策定経費が、プロジェクト経費として扱われていたましたが、来年度はプロジェクト経費から外れことによりマイナスとなっております。

以上、平成30年度の山口市立図書館予算（案）の概要でございます。

○会長

どうもありがとうございました。A4とA3の資料で、平成30年度山口市立図書館関係予算の報告をいただきましたが、額は変えられないと思いますけれども、これは何を想定しているのか、どういう内容なのかという質問とか、ご意見や感想をいただければと思います。

例えば、エントランスエリアや奥の共同利用スペースの改修が始まるということですが、いつから改修をはじめ、いつから使えるようになるのでしょうか。スケジュールをお聞かせください。

○事務局

スケジュールですが、いつ着工し、いつ完成するかにつきましては、今から詰める段階でございます。平成30年度が始まり次第、早急に取りかかりまして、企画デザインを始め、いろんな部門の専門家を交えて、まずは計画を作りからスタートいたします。

事業費につきましてご案内いたします。中央図書館のエントランスエリアと共同利用スペースにリニューアル事業の経費は2,580万円でございます。

施設の改修と並行いたしまして民間事業者と連携した事業の展開につきましては、

500万円を計上し、先ほど副会長さんからもありました民間等と図書館の連携、日本一本を読むまちづくりに、市立図書館として取り組む予算が500万円計上されております。

○会長

ありがとうございます。さっき副会長さんが、民間事業者と書かれると、どこかが想像されるので、議事録には先ほどの意見を、もし万が一このサービス計画に入らないようなことがあっても、「地域」とか、「地元」とか、ぜひ議事録には残しておいていただいて、「地元優先ということを考えているのだ」ということを、つけ加えていただければと思います。

先ほどの説明にありましたエントランスエリアと共同利用スペースの2,580万円のリニューアルの予算執行は、平成30年度で全てが終了していると理解して宜しいでしょうか。早期に着工していただければと思います。

ほかに何か。お願いいたします。

○委員

今のところの、民間事業者と書いてあるもう2段下のところに、「ブックポストの本の回収や、大学の図書館の資料などの移動に使用している配本車」と書いてありますが、これはどのような車でしょうか。

○事務局

これは、普通車で後ろに本が詰めるワゴン車で、購入後15年経過しておりまして、かなり傷んでおります。これを更新するものでございます。

○委員

この配本車は週何回の稼動か、伺いたいのですが。

○事務局

週3回から4回ぐらいは動いております。

○委員

山口大学とのあいだを行ったり来たりですね。

○事務局

そうです。あとは、ブックポストの回収作業に午後からずっと動いておりますので、かなりの距離を走っております。

○委員

ブックポストの本も回収しているのですね。

○事務局

そうです。地域交流センターにあるブックポストの本を回収し、図書館で返却処理をします。

○会長

ありがとうございます。どうぞ、お願いします。

○委員

例えば中央図書館で借りた本を阿知須図書館で返却した場合、そういうときも、配

本車が配本するのですか。

○事務局

はい。

○会長

山口市は県下で1位か2位の広さです。下関市とどちらが広いのでしょうか。

○事務局

サービス計画をお持ちでしたら、66ページにネットワークのイメージを載せおられます。小郡と中央図書館で2台の配本車がございまして、そこで本のやりとりをしています。徳地のほうも中央で対応するネットワークを組んでおります。その1台を更新するという事です。

○会長

他に何か。

○委員

A3の資料ですが、1番の後半に、まちなかで気軽に本が読める環境づくりということが、まちに飛び出すコラボ事業として記載されていますが、これと7番のところの、まちに出るといったイメージの民間事業者というのは何か関連があるのですか。どういうふうに仕分けされるのでしょうか。

○事務局

7番のほうは図書館の中で行う事業です。山口情報芸術センターや、図書館で行う事業が主でございます。

1番の図書館管理運営業務の事業につきましては、まちに飛び出していくという内容、先ほどのサービス計画の中で、副会長さんから発言がありました「まちじゅう図書館」の事業を(1)のほうで行うというもので、分けて記載しております。

○委員

図書館の中で民間の人が何かを行うというのは、ここではレノファ山口と書いてありますが、他にどのようなものがありますか。

○事務局

ワイワイ図書館で、FM山口さんと図書館がコラボをして読み聞かせを実施しております。また、今年度で申しますと日本政策金融公庫が女性のための企業セミナーを実施しています。そのような民間が図書館とコラボをして事業を行うというものでございます。

○会長

健康増進課とか公的な機関も含まれるわけでしょうか。

○事務局

はい。健康増進課や交通政策課、山口歴史民族資料館なども含まれます。

○委員

そうしますと、民間事業者と言いきらずに、事業者等と記載したほうが理解しやすいです。例えば健康ウォークのように市長部局のいずれかと一緒にコラボするとか、

イメージがわかるほうがよいと思いました。

○事務局

A3の資料はこの協議会で使う資料でございますので、委員の皆さんでしっかり理解してお帰りいただきたいと思います。こちらの説明不足につきましては申し訳ございません。

○会長

ありがとうございます。ご指摘により事業の(1)と(7)の棲み分けがはっきりしたと思います。民間事業者というところで、山口市との関係がどうなるのか気になっているところがあるのかもしれませんが。他に。

●●委員さん、どうぞ。

○委員

先ほどリニューアルのところで、「専門家の意見を聞きながら」と説明されましたが、利用者の意見もぜひ聞いていただきたいと思います。

特に、以前にも発言しましたが、奥の3部屋の環境はとても悪く、寒暖差が著しく、また照度不足ですので、実際に利用したことのある人の意見をぜひ反映していただきたいと思います。またエントランスにつきましても利用者の意見をぜひ反映していただきたいと思います。

○会長

ありがとうございます。これは大事なことです。普段図書館を使わない方が設計デザインされることもあると思いますので、ぜひ利用者の声を反映させていただきたいと思います。●●委員さんお願いします。

○委員

4館の図書館が平成30年度に開館記念周年を迎えると記載があります。前にも発言しましたが、周年事業は図書館のお披露目ということで、普段足を運ばない人も、行ってみようかという良い機会になると思います。何か記念事業をされたほうが良いと思います。私、小郡図書館と中央図書館については知っていたのですが、ほかの2館についてはどこなのか教えていただきたいと思います。また、何か記念事業をされるのでしょうか。

○会長

では、事務局お願いします。

○事務局

阿知須図書館が15周年、阿東図書館が5周年になります。記念事業の内容については、これから検討することになると思いますが、特別な予算がついているわけではございませんので、既存の事業のグレードアップや冠をつた事業というような対応になると考えています。

○会長

良いご指摘だと思います。5年、10年、15年の節目に何かの記念事業を行うのは良いことだと思います。予算ぎりぎりのところだとは思いますが、良いチャンスで

すので、ぜひ徳地図書館、秋穂図書館でもよろしく願いいたします。秋穂図書館は開館8年でしょうか。

○委員

今年で8年です。

○会長

お金をかければ良いという問題ではありませんが、徳地図書館でもぜひ節目の年になりましたらお願いいたします。良いチャンスですので。

他に何かありませんか。

○委員

ワイワイ図書館について、どんなことを実施されるのでしょうか。私たち友の会が何かお手伝いできるのでしょうか。お知らせしてほしいと思います。

○会長

●●委員さんが昨年全館回って、撮影してくださいました。来年度の実施日は4月29日ですね。どういうスケジュールで決まっていくのかということも含めて、内容はほぼ固まっていますか。

○事務局

それぞれお答えして宜しいでしょうか。

○会長

簡単をお願いします。

○事務局

中央図書館では、今年もFM山口さんとコラボした読み聞かせをスタジオAでやる予定にしております。また、午後からのイベントもFM山口さんとコラボして実施しようという話もありますが、詳細はまだ決まっておりません。

それと、●●委員さんからご紹介をいただいた山口大学の落語研究会とお話をさせていただいて、スタジオCで子供向けの落語をやっていただこうかと思っています。

それと、毎年行っておりますお話会もからめて行ないたいと考えています。

○会長

それでは、どちらの図書館からでもでも結構ですが報告をお願いします。

○事務局

阿知須図書館では、毎年バルーンアートのワークショップを行っております。テーマは毎年異なりますが、地元のボランティアの方にご指導をいただき、親子で風船を膨らませ、地元の皆さんと一緒に作り上げる祭りにしていきます。毎回好評で、親子3世代で図書館になじんでいただくきっかけになっております。それを中心として、小さなこいのぼりを作るなど、図書館に親しんでいただくことを企画しております。以上です。

○委員

そのバルーンアートのワークショップは何時からやっておられますか。

○事務局

正確な時間は覚えておりませんが、午前中です。10時から12時ぐらいだったと思います。

○委員

手作りのこいのぼりは午後ですか。

○事務局

これは終日やっています。

○事務局

決定した段階で、スケジュールなどをホームページに載せます。

●●委員さんにはしっかりとお伝えしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○会長

チラシが必ず作られると思いますので、協議会の委員にも送っていただきたいと思
います。●●委員さん、余り無理をされないように回ってください。

○委員

それでは、今年も撮影に伺ってもよろしいでしょうか。

○会長

ありがとうございます。

○委員

1日で6館全てを回るので、滞在時間が3分くらいしかありません。一番良いところ
を撮影したいと思いますが、なかなかうまく合わないところもあります。そこは各
館の写真を活用したいと思います。また、後日各館長さんには開催の様子を聞かせて
いただきたいと思います。

昨年並みの内容で作りたいと思いますが、各館では、他館でどんなことをやってい
るか参考になりましたか。

○会長

それでは。

○事務局

小郡図書館です。11時からおはなし会スペシャルで、紙芝居や読み聞かせを行
います。11時から折り紙教室を行います。午後1時から2時45分まで、2階の会議
室でチェロとピアノとフルートとバイオリンのソレイユトリオが子供向けの楽しい
音楽会を行います。

午後2時から2回目のお話会スペシャルを2階の会議室で行ないます。内容は紙芝
居、読み聞かせ、そしてパネルシアターです。最後にバルーンアートで終わりにしよ
うと思います。

○事務局

秋穂図書館です。今年度の内容を基本に考えているところですが、大型かるたは、
著作権の関係で来年度は取りやめになります。

今考えておりますのは、読み聞かせと紙芝居。また、ボランティアによる音楽会の

実施です。それと、子供さん向けのDVDの上映会です。

開催時間につきましては、昨年は午前と午後を実施したのですが、参加されるお子さんは保護者の方と一緒に来られますので、午前の部に来て、家で食事をされ、また来館されるというパターンになりますので、来年度は開催時間を集中しようということで、午後1時から3時のあたりで集中的に行うことを考えています。以上です。

○会長

●●委員さんは、午前中のところや午後のところがあれば、分散されて移動しやすくなるかもしれませんね。

○委員

イベントの時間がずれていれば良いのですが。

○会長

徳地図書館、お願いします。

○事務局

徳地図書館でございます。今、ワイワイ図書館に向けて、決まっているのはDVDの上映で、あと工作等々につきましては、嘱託以下臨時職員4名が各自でワンコーナーを持つということで頑張っておりまして、内容についてはまだ把握しておりませんが、職員同士が競い合う形でやっておりまして、今月中には内容が固まり、スケジュールをどのように組むかというところまで決定できると考えております。

実施時間は午前10時から午後3時ぐらいを予定しております。以上です。

○会長

ありがとうございます。それでは、阿東図書館お願いします。

○事務局

阿東図書館ですが、基本的には例年どおりとなります。主なものはスタンプラリーと工作教室で、来年度は紙飛行機を子供たちに作ってもらい、それを実際に飛ばすというイベントを計画しています。そのほかには、DVDの上映会やお話会。これらを組み合わせて行いたいと思っております。

時間帯については検討中で、またチラシ等ができましたらお示ししたいと思っております。以上です。

○会長

ありがとうございました。各館チラシができましたら、お知らせいただければと思います。●●委員さんよろしいでしょうか。

○委員

もう一つよろしいでしょうか。

○会長

先ほどの発言では、友の会の方たちが、何か協力できないかと述べられたと思います。何かそのあたりありましたら。

秋穂図書館ではもう募集にされていると伺いましたが、他に何か。

○委員

また後でよろしいです。

○会長

良いですか。

○委員

すばらしい企画を各館が計画されているのですが、そのチラシは小学校全部に配布されているのでしょうか。

○事務局

中央図書館は、学校の図書室に貼っていただくようにしていますが、全員への配布はできていません。

○委員

残念な気がします。

○事務局

ポスターやチラシは少ないですが、お配りはしております。

○委員

学校に小さいチラシを貼っても目に付きません。楽しい企画をいっぱいされるので、配ってほしいと思います。

○会長

ほかに。

○委員

子ども読書活動推進事業の上から4番目に、「読み聞かせ等のボランティア養成講座の実施」とありますが、これは年間計画等を立てているのでしょうか。

○事務局

今年度は2回実施いたしました。まだ日程は決めていませんが、来年度も今年度並みに実施したいと思います。

○委員

愛メイトのメンバーでも講座に参加したいという要望があります。

○事務局

また、お知らせします。

○委員

あれば助かりますので、教えてください。

○会長

ありがとうございます。他に何か。

○委員

先ほどの5番に関連して読書感想画の「好きなお話の絵」の募集ですが、毎年4月の中旬ごろに案内をいただいておりますが、もう少し早くしてください。4月23日が子ども読書の日で、締め切りがゴールデンウィーク明けですと、学校では家庭訪問などで、授業でとれる時間が短くなります。4月の最初に案内があると、学校としても取り組みやすいので、少し早めにお知らせをいただければと思っています。

次に、読書感想ノートは、子供によっても学校によっても、温度差があるような感じがあります。それをどのように把握されていますか。

○事務局

読書ノートの活用方法についてでしょうか。

○委員

はい。

○事務局

読書ノートの活用につきましては、図書館を発表の場やノートをたくさん持ってきた子の表彰の場などの活動につなげたいと思っております。

読書指導につきましては、公立図書館では申し上げられないところです。ぜひ使っていただきたいと思っておりますが、指導については踏み込めないところです。

○委員

読書ノートを図書館に持って行くと、お褒めのページを貼っていただけるとか。

○事務局

そちらを行っております。

○委員

そのような取り組みを、学校現場で周知するような案内があれば良いと思います。

○事務局

周知に努めてくれということですね。

○委員

はい。それを目標に声かけもできると思います。

○会長

来年度も、各学校に学校司書が配置されないのでしょうか。

○事務局

複数校が対象になるかと思えます。

○会長

複数校が対象となる学校司書にも、そういう情報を広めていただければよろしいかと思えます。学校司書が公立図書館と学校図書館をうまく結びつけることが必要と思っております。

他に何か、気になるところはありますか。

○副会長

よろしいですか。

○会長

お願いします。

○副会長

平成30年度予算資料の一番下の7番で、9万円ほど削減されています。その横に「サービス計画策定プロジェクト経費削減による」とあります。この経費削減によるということは、計画の策定で下がったということでしょうか。それとも、予算配分上、残が出

たので9万円削減になったのでしょうか。

それと、「予算（案）の概要」の資料では、維新150年に向けて歴史講座の実施とありますが、事務事業別の資料（A3）には記載がありません。150年イベントを実施するにもかかわらず、こちらのほうは削減されるということは、どこか大幅に節約せざるを得ないと思いますが、そのあたりをお尋ねします。

○会長

1つ目の質問の9万円の削減について。

○事務局

9万円の削減は、平成29年度にサービス計画を策定し、計画を印刷するための経費9万円については今年度に執行しますので、その印刷代の9万円が減額となります。

○会長

印刷の経費が減ですね。もう一つの質問について回答をお願いします。

○事務局

維新150年に向けた歴史講座やイベントの実施について、A3資料の（7）の1番上に、『「図書館薩長同盟」など』と記載しておりますが、ここでさまざまな主体と連携した講座やイベントの開催を今年度並みの予算で実施しようとするもので、減にはなっておりません。

○副会長

わかりました。

○会長

よろしいでしょうか。先ほど●●委員さん、後にしますとおっしゃいましたが、いかがですか。

○委員

2つあります。

周年イベントについて再確認ですが、副会長が今質問されたように、2つの資料の擦り合わせをしておりますでした。

周年事業について、特別な予算は付いていないと回答をいただきましたが、間違いありませんか。

○事務局

はい。

○委員

A3資料の（7）に、「全館による周年イベント」と記載がありますが、予算が付くということですか。

○事務局

予算としては特に付いておりません。

○委員

予算は付いていないけれども、予算の範囲内で実施するということですね。

○事務局

厳しい回答ですが、既存の事業のグレードアップや冠をつけるなどの対応を考えています。

○委員

わかりました。

○事務局

予算的には厳しい状況ですが、皆様方のお知恵をおかりしながら、予算の範囲内で対応したいと思いますので、宜しくお願いしたいと思います。

○会長

もう一つの件をどうぞ。

○委員

先日、作家さん4人のイベントの資料を館長さんから各委員さんに送っていただきました。図書館主催のイベントの情報は、委員に送っていただけののでしょうか。

各委員さんは情報を広げる手段をお持ちだと思いますので、そうしたツールを活用できれば良いと思っております。各図書館でも図書館のイベントの情報を、委員さんに今まで提供されていたのか確認したいと思いました。そういう情報の提供が可能であれば、どの館も委員さんに情報の拡散を手伝ってもらったら良いと思っています。

○会長

ありがとうございます。

中央図書館だけではありませんが、各館が実施されるものについては、1枚ずつ、あるいは数枚ずつ送るのは大変でしょうが、どこかで集約し、私どもに送っていただければ、幾らでも手段はありますので、いろんなところでお情報を広げたいと思っています。協力体制を組みたいと思いますのでよろしく願いいたします。

他によろしいでしょうか。どうぞ、お願いします。

○委員

周年イベントについて、例えば4館が個々に計画を立てて、各館が個別に予算が要りますということをやっていると大変であると思います。例えば日にちを合わせ、遠くから講師をお呼びしたときに、4館全部とは言わないまでも、講師の方に各館でお話をしていただけないかと思いました。ある館にはたくさん予算がついたということになると、不公平感があるかという気がしました。

また、今年度の事業の中でこれは大変好評であった企画について、教えていただきたいと思っています。

○会長

これは、5月か6月かわかりませんが、次回の協議会のときに、実施状況や参加人数を各館から報告していただければよろしいかと思います。

○事務局

今の、お話の件につきましては、来年度が始まりまして、第1回協議会におきまして、29年度の総括の資料をお配りいたします。

そのときに、各館の実施したイベントへの参加人数などをお示しできればと思ってお

ります。

○会長

そのときに、各館が実施したイベントの特徴や、参加人数だけではなく目指している方向性などについても教えていただければと思います。

他によろしいでしょうか。それでは、予算は一旦終わらせていただきます。

それでは、山口市立図書館サービス計画と、子ども読書活動推進計画、それから平成30年度の予算の3つについて皆様方のご意見を頂戴しました。

もう少し時間がありますので、この3点でも結構ですし、それ以外に気付きがあればお願いします。

図書館まつりは、8月に阿東・秋穂図書館でありました。11月初めには徳地・小郡図書館であり、中央図書館では実行委員会で検討中です。うまく横並びに連絡し合うようなところがあっても良いのかと思いますが、何か日ごろから思っていること。何でも結構です。

○副会長

前回、問題になりました子供の図書館の利用カードの期限について。期限が切れると、カードを持っていない子供の数が、2・3割増えます。せっかく持っていて、図書館利用の可能性がありながら、更新しない子供たちに図書館を一番利用してほしいと思います。更新してまでという認識がないので、切れた時点から利用しなくなる感じがします。

その対応については、学校関係になるのかもしれませんが、図書利用カードは各館共通なのでしょうか。

○会長

各館共通です。

○副会長

共通ですね。そのあたりの対策について、何か考えておられますか。

○事務局

6月に小学校1年から中学校3年生までの全学年を対象に、各学校に図書カード作成の依頼を行い、学校を通じた利用登録を行っております。年により増減はありますが、約400から500人の登録があります。

中学生は多くありませんが、小学生、特に1年生は多数の登録がございます。このような取り組みも行っております。

また、子供だけでなく親世代にも働きかける必要がありますことから、山口市内全体のPTAを対象とする総会において、館長から図書館の利用について、登録につきましても一緒にお願いをしております。

それと、先般「ぐるぐるの図書室」という小学生以上を対象としたイベントを行いました。定員400人に対し約180人の入場者でしたが、このような子供向けのイベントも少しずつ始め、図書館に関心を向けていただく取り組みも行っております。

学校への団体貸し出しなども行っており、ワイワイ図書館など、各種イベントや講座の実施により子供に図書館に目を向けてもらうことも、あわせてやっていきたいと思っ

ております。

○事務局

今、子供向けのご意見をいただきましたが、大人向けについて補足させていただきます。山口市では歴史講座に年齢の高めの方の人気があり、去年も、利用登録がある方にはプレゼントを行いまして、新たな登録者の増に努めております。いろいろな機会に、各世代を対象とした方法を考えているところです。

○委員

秋穂では各学校に学校応援協議会というのがあり、合同会を年に2回実施しています。その中で部会に分かれておりまして、秋穂の3校の運営委員会の委員が4部会に分かれます。その中の徳育の部会で読書が主要なテーマになっており、子供に図書館に足を向けてもらうには、あるいは学校図書館を使ってもらうにはどういう働きかけが必要かということ、地域のいろんな立場の人が話し合っています。それが今年度うまく方向性を出せればと思っています。

その中には当然PTAの方もいらっしゃいますし、いろんな立場の人が委員に入っていると思いますので、活動が地域に広がれば良いと思っています。

○会長

多様な機会があると思いますし、学校司書が何校か回りますので、学校図書館の中で閉じこもるのではなく、学校司書が教室に出向いていろんな話しをすることも有効だと思いますので、そのあたりで進めていくのが一番身近な方法かと思っています。

他に。どうぞ、お願いします。

○委員

小学生の場合は、自分で行けるのは校区内だけです。中央図書館であれば、白石小学校の児童しか自分で行けません。校区外ですと、親子連れという事情がありますので、そのあたりも考えつつ、子供については検討する必要があると思います。

それと、4月には転入者が多数あります。転入届けのときに、地域のごみカレンダーなどが配布されますが、転入者に渡す資料の中に図書館の利用登録についての案内などが入っているのでしょうか。そういうきっかけを利用すれば関心のある人は、転入したら登録されるのではないかと思います。

○事務局

今は実施していません。案内を渡すことはできるかもしれません。

○会長

市報に図書館祭りの告知だけでなく、例えば4月の転入者に対して広報することも考えられます。

○委員

市報は町内会に入っていないと届きませんので、転入してきた人が必ず市報を手にするとは限りません。

○事務局

中央図書館は情報芸術センターに入っていますので、情報芸術センター内に図書館が

あるということを転入した方には案内しています。

○事務局

今年の転入者への資料に入っているかは確認しておりませんが、以前は入っていました。

○委員

副会長さんが図書館の利用カードが各館共通かとおっしゃった件に関連して、作った図書館のカードは作った図書館固有のものというように勘違いしている人がいます。秋穂図書館で、小さいお子さん向けのお話をすると、小郡とか鑄銭司のほうからも来られるのですが、そのときに参加者には、赤ちゃんにもカードができるというので、一緒に参加していただいているのですが、小郡からの参加者に、秋穂図書館で借りた図書を小郡図書館で返却ができるし、小郡図書館で借りた図書を秋穂に来られる際に返却もできると伝えると、「そうなんですか」と言われることも結構あります。また、大人の男性にもそう言われたことがありますし、私の接点がある若いお母さんには、秋穂外からも来られる人が結構いらっちゃって、その方に言うと、「はって」言われます。ですので、そういうところも少し丁寧に伝えると良いと思います。

○副会長

図書館だよりで、6館共通ということを伝えると良いですね。

○事務局

カード登録のときにご説明を差し上げているのですが、多くのことを一度に伝えますので、忘れる場合もあると思います。今いただきましたご意見は、何かの折に周知に努めたいと思います。

○会長

各カウンターで、あるいは貸し出しのときに、他の館でも返却できることを伝えていただければ良いかと思います。

○委員

転入の登録の際に、転入したかたに市の各種情報とかをまとめて、袋に入れて渡すなどのサービスはないのでしょうか。

○事務局

今、転入の際に必要な手続や山口市の基本的な情報について、簡単な資料はお渡ししておりますが、図書館や学校についての情報が入っているものではありません。

○委員

図書館のご利用をぜひというような形のチラシでも良いので、それに含めていただけたらよろしいかと思います。

○会長

何かの際にはぜひお願いします。勘違いされているかたもあるかもしれません。よろしゅうございますか。

○副会長

小中学校生は校区外には行けないという原則があります。図書館については、そのあた

	<p>りの措置の例外にはできないのでしょうか。図書館カードで図書館に行く意思表示として、確かにここは湯田小校区（「白石です」と呼ぶ者あり）。白石小学校区ですけれど、中央図書館は湯田小や大殿小あたりが割と近いところだと思います。</p> <p>○事務局 湯田小学校では学校の判断で了解していただいています。</p> <p>○委員 隣接していますから。</p> <p>○会長 図書館というよりも、学校と親の判断ということになりませんか。</p> <p>○委員 少し違和感があります。</p> <p>○会長 どうぞ。</p> <p>○委員 先ほど、●●委員さんから発言がありましたが、委員には各図書館であるイベントを、例えば次の告知が6月でしたら、それまでのイベントの情報を流していただくと、いろんな手段を使って市民の皆様に伝えることもできます。ぜひ教えていただけるとありがたいです。</p> <p>ホームページをいつもチェックしておけばいいのですが、興味をそそるイベントについて、クリックして、クリックして、クリックしてという感じで、トップページに全てが詳しく載っているわけではありませんので、つい見逃してしまいます。おもしろそうなイベントはぜひお知らせくださると、多くの人に情報を発信していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>○会長 小学生はいつも話題になりますが、中学生、高校生はどうでしょうか。高校生に働きかけないと、急激に読書量が落ちているようです。大学生は大学図書館との連携という形で目が届いていると思いますが、先日新聞でも大学生の読書環境の悪化が載っていました。やはり小学校で習慣化してもだんだん落ちていくというように思いますので、ぜひ高校生にも何か仕掛けがほしいと思っております。せっかく今、大学生との連携も進んで来ていますが、これに高校生等も巻き込んでいとか、高校生に目を向けてもらうようにすることも、ぜひご検討いただければと思います。</p> <p>それでは、以上で終わらせていただきます。事務局にお返しします。</p>
	<p>山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040</p>